

総括表

群馬県概要

- (1)人口(R5):約190万人(生産年齢人口57.6%(前年比+0.1ポイント)、老年人口31.2%(前年比+0.2ポイント))
- (2)主要産業構成(R3):製造業(就業者数25.1%)、卸売業・小売業(同18.3%)、医療・福祉(13.6%)
- (3)経済状況(R3年度):実質県内総生産9兆1619億円(前年度比+5.5%)
- (4)雇用情勢(R5年度):有効求人倍率1.4倍(前年度比△0.08%)、正社員有効求人倍率1.09倍(前年度比△0.06%)
- (5)総合戦略等で重点的に取り組んでいる産業対策・雇用施策
R6～R9の4年間における産業振興の方向性を定めた「群馬県産業振興基本計画」を策定(R6.3)。「産業構造の転換と人的資本への投資・リスクリング」「新産業の創出、未来創造型企業の誘致・集積」「地域企業の成長支援と高付加価値化」等5つの基本方針を立て、産業対策・雇用施策に取り組んでいくこととしており、特にデジタル・クリエイティブ産業の振興に力を入れている。

地域における課題と現状

課題

- ①人材の確保・育成・定着(喫緊の課題)
- ②新産業創出や産業構造転換による雇用の創出(長期的な課題)

<企業・事業主>

- ①魅力発信、情報発信(デジタルクリエイティブ人材)
- ①②人的資本経営の浸透(同上)
- ②生産性向上、稼ぐ力の向上(同上)

<求職者・労働者>

- ①②若年求職者
- ①②Uターン就職希望者
- ①②キャリアアップを目指す労働者

必要な支援策

- ①担い手の確保・育成(ABC)
- ②新産業創出や事業転換・事業多角化による稼ぐ力の向上(ABC)
- ①②人的基本経営の浸透(A)
- ①②DX推進による生産性の向上(AC)

デジタルクリエイティブ人材活躍推進事業

事業テーマ

群馬モデルによる未来産業創造による持続的な雇用創出

戦略的雇用創造分野

デジタルクリエイティブ人材

地域の関係者からの意見・要望・提案等

- ・ 人手不足の中、従業員一人一人の生産性向上を図るためにも、デジタル技術を活用できる人材の育成が重要（県経営者協会）
- ・ 大変厳しい人手不足の時代であるため、優秀な人材が群馬に戻って仕事をしたいと思ってもらえるよう取り組んでほしい（県内中小企業）
- ・ 各市町村により支援にばらつきがあるため、全県的に受けられる支援が必要（県内金融機関）

事業規模・事業効果

【事業規模】

事業費：2.1億円（①0.68億②0.7億③0.72億円）

【事業効果】

雇用創出：251人（①68人、②84人、③99人）

○地プロ事業

●県単独事業（他財源の事業含む）

A：企業・事業主向け

- ①イノベーション創出事業
- ②事業多角化・新分野進出支援事業
- ③リスクリング事例共有促進
- ①DX推進人材育成リスクリング・モデル企業創出

C：就職促進

- ①高度人材育成・確保事業（情報発信）
- ②観光関連産業における専門人材の活用及びマッチング促進
- ③クリエイティブ産業移転促進事業（マッチング）
- ①ジョブカフェにおけるマッチング
- ②ぐんまネクストジェネレーター（職業紹介）
- ③観光関連産業における専門人材の活用及びマッチング促進（職業紹介を伴う伴走支援）

B：求職者・労働者向け

- ①ぐんまネクストジェネレーター（交流・研修事業）
- ②高度人材育成・確保事業（人材育成）
- ③クリエイティブ産業移転促進事業（人材育成）

訓練機関・教育機関

<連携できる主な支援>

- ・ 県訓練校等における職業訓練
- ・ 大学等による公開講座(B②③)

労働局・ハローワーク

<連携できる主な支援>

- ・ 職業相談、職業紹介(C①②③)
- ・ 職業訓練
- ・ 雇用・労働関係助成金(A③①)

商工団体・金融機関

<連携できる主な支援>

- ・ 会員・取引先企業のDX推進
- ・ 会員・取引先企業への広報（計画全般）

都道府県

<連携できる主な支援>

※上記●事業以外を掲載

- ・ DX技術革新補助金
- ・ デジタルソリューションラボ
- ・ ぐんま未来イノベーションLAB